

写真部 第24回総会&第24回撮影会

サークルを通じて組織強化を確認！

9月27日、八戸市新むつ旅館にて写真部「第24回総会」を開催しました。当初は6月に開催する予定でしたがコロナ禍の影響により延期し、三役会議を経て開催することになりました。

2020年度本部写真部役員体制(敬称略)

部長	目時 伸也	八戸運輸区
副部長	伊藤 雅章	仙台新幹線運輸区
事務長	堀江 宏隆	大宮運輸区
幹事	斉藤 裕太郎	盛岡運輸区
	三浦 泰夫	仙台新幹線運輸区
	後藤 優紀	東京総合車両センター
	城本 和利	相模原運輸区

OBやエルダーの先輩方をはじめ、来賓を含め総勢16名の参加となりました。参加者からは、新たなジョブローテーションでの職場の現状や、黒字経営を目指すためにできることなど、職場での現実を出し合い、サークルを通じて組織強化・拡大を目指すことを一致し、方針を確認しました。また、本部サークル協議会・野中副議長からは、八王子地本再建にむけた苦闘と現状、サークルを通じて組織強化を目的として講演いただき、その後は懇親会を行いました。



翌日は「第24回撮影会」として、陸奥漆の朝市と八戸臨海鉄道の貨物列車の撮影を行い、青空の一枚と気持ちの良い一枚を収めることができました。コロナの収束の見通しは立ちませんが、サークル活動を通じて楽しく組織強化していくことの大切さを感じた2日間となりました。

青年部 第1回貸金学習会

青年部から組織拡大を目指そう！

青年部は10月8日、本部会議室において「第1回貸金学習会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を伴い、東北の仲間がテレビ会議システムでの参加でした。



武田青年部長から貸金学習会を開催する目的や社会情勢を説明し、貸金学習会を通じて自らの考えを見つめ直し、多くの仲間と共に組織強化・拡大を実現することを提起しました。

その後、休業指示に係る就業規則の一部改正について福田組織研修担当部長が問題提起を行い、討議資料を用いて問題意識の共有と職場現実を出し合いました。「休業指示の先に解雇の可能性があるのではないか」「出向中の若手は転籍・解雇のリスクを感じていると聞く。東労組への加入を通じて不安解消につなげたい」との意見がある一方、「何とかなるだろう」と思っている若手も多い。「休業指示よりも他の施策に興味を持っている」など悩みを出し合い、仲間とどのように危機感を共有するか議論を深めました。

その後、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」の補足資料を用いて情勢の一致を図り、様々な意見を交わしました。経営の危機は雇用の危機に直結することや、その先の未来を創造し、JR東労組への再結集を図ることを確認しました。

また、年末手当の要求づくりに向けて意見を出し合いました。新型コロナウイルス対策のために進んでいる消毒や基本動作の変更、感染への不安の中で奮闘している努力に報いた金額を求める意見や、社宅居住期間の上限の廃止や凍結、教育費やローンを抱える若手に手当を厚くするなど、経営危機に踏まえて要求の中身を柔軟にすることはどうか、などの意見がありました。職場の声をもちに要求を練り上げ、組織力を高める要求実現を目指すために、青年部はあらゆる場を通じて若手の加入・再加入を実現していきます。

かんり部会 第35回定期総会

今後も「血の通った人の心・母の心で管理する」



10月10日、パイオーションを通じて部会員の悩みを共有しオランドホテルつつ、若い部会員の接点づくりなどを(大宮)にて本部を通じて交流を深めました。18春闘をかんり部会「第35回定期総会」を開催しました。大宮選出の近藤座長の選出の近藤座長のもと31名が結果しました。

八王子地本の3名のOBの皆さんから八王子地本の現状について報告をいただいたほか、来賓として中央本部から佐藤中央執行委員長と高橋中央執行委員長、大宮地本から坪井執行委員長、きかく部会から仁戸田部会長が出席しました。

かんり部会は「血の通った人の心、母の心でかんりする」を基軸に、レクリエーションを通じて部会員の悩みを共有し、若い部会員の接点づくりなどを(大宮)にて本部を通じて交流を深めました。18春闘をかんり部会「第35回定期総会」を開催しました。大宮選出の近藤座長の選出の近藤座長のもと31名が結果しました。

新たなジョブローテーションの検証の必要性や、人材育成のあり方、職場の現状など、管理者とかんり部会員のそれぞれ立場で悩みながらも奮闘している発言が出され、総括答弁にて今後の方向性を意思統一しました。

そして、信頼回復に努め、雇用と「安全・健康・ゆとり」を守るために団結すること全員で確認し、山本新部会長の団結カンパローで成功裡に終了しました。

きかく部会 部会代表者総会

職場変革をきかく目線で実践しよう！



9月19日、仙台地本会議室において「きかく部会代表者総会」を行いました。中央本部から佐藤中央執行委員長、高橋中央執行副委員長、かんり部会から渡辺事務長、各地方の非現業職場の仲間が結集しました。感染防止策を講じて7ヶ月ぶりに開催することになりました。

仁戸田部会長挨拶では第1四半期決算と通期の業績予想、「休業指示に係る就業規則等の改正について」の交渉経過、会社より示された「変革のスピードアップ」をサステイナブルなJR東日本グループをめざして、について問題提起がありました。その後、佐藤中央執行委員長からは、会社経営の一番近くで働くきかく部会と連携して情勢を分析し、危機感や転換点を共有して組織強化・拡大につなげよう提起されました。各地方からは施策やテレワークの検証、支社で悩む組合員との関わりについての発言があり、コロナ禍における施策の進め方と早さに苦慮しつつ、仲間を想いを馳せ非現業職場にJR東労組の旗を掲げ続ける実践が展開されました。高橋中央執行委員長からは分裂策動に負けずきかく部会がつながり続けたことの意義と、変革のスピードアップや複雑化、生産性の向上に対し、労働組合として堂々と議論し、自信をもってJR東労組への結果を呼びかけようとの激励がありました。

最後は仁戸田部会長の団結カンパローで変革する社会を皆で乗り越えることを確認しました。

工務部会 第32回定期委員会

職場の声をもち「検証と安全」にこだわる！



10月10日、仙台地本会議室において本部工務部会「第32回定期委員会」を開催し、前事務長の任期途中での辞任・脱退という事態を乗り越えて29名が結果しました。当日は台風接近の中、新型コロナウイルスへの感染防止のため空気の入れ換えを頻繁に行うなど万全の3密対策を施して開催しました。委員会の冒頭では、10月20日に行われる国際鉄道安全会議に向けて、中央本部と共につくり出した提言を発表しました。

質疑では8名の委員から施策の検証や再入りの取り組み、コロナ禍における職場活動と業務などについて活発な発言があり、年末手当に向けても意見交換ができました。総括答弁では、施策の検証に力を入れる一年にする決意と、「事故の連鎖を断ち切り、安全で安心して働ける職場をつくり出すための特別決議」を採択し、成功裡に終了することができました。

- 【スローガン】
- 過去の事故を風化させず、真の原因を追求し、安全風土再確立のたたかいをつくりだそう！
 - 「変革2027」に向き合い職場の声から「安全・健康・ゆとり・働きがい」ある職場をつくりだそう！
 - 私たちの雇用を守りコロナ禍を乗り越え、JR東日本に工務職場を残そう！

- 【2020年度三役体制】
- | | | |
|-----|-------|-----------------|
| 会長 | 杉本 博輝 | 大宮機械技術センター |
| 副会長 | 斉藤 誠 | 大宮電力技術センター宇都宮MC |
| 副会長 | 原島 雄二 | 三鷹保線技術センター |
| 事務長 | 七海 勝彦 | 仙台電力技術センター郡山MC |

JR総連 2020年豪雨災害に対する緊急支援カンパを多くの皆さんにご協力いただき、ありがとうございました！

975,840円

今年夏の九州・中国地方を中心とする集中豪雨では、熊本県をはじめ大きな被害が生じました。JR東労組が加盟するJR総連の組合員・家族にも被災された方がおり、今も不安な生活を余儀なくされています。

そこでJR東労組では、労働組合だからこそできる活動として「2020年豪雨災害」に対する緊急支援カンパを取り組みました。賛同いただいた多くの仲間の皆さんに、深く感謝申し上げます。

カンパ金は、被害に遭われた組合員へのお見舞い金や、復旧作業に奮闘する分会への激励物資購入、連合への支援に充てさせていただきます。

